

図書館報

Kyushu International University Library Bulletin

vol.
27



Contents

- 図書館長からのメッセージ、図書委員・卒業生からのひとことアドバイス、
図書館使おうよ！シリーズ P.2
- 図書委員からのオススメBOOK
図書館視聴覚資料利用ランキング P.3
- 図書館 Information P.4

図書館長からのメッセージ



「図書館の異次元空間で“変身”を！」 図書館長 富永 猛

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。図書館を代表して、一言、メッセージをお送りします。本学の中心（ヘソ）に位置する茶と白のツートンカラーの建物がメディアセンターで、図書館はその2F-5Fを占めています。一步、中に入ると、そこは静謐な異次元の知的空間が広がっています。そこでは、先達の知識の汗の結晶ともいべき50万冊余の蔵書・雑誌達が諸君たちとの出逢いを待っています。彼ら（書籍）は、人の成長にとって不可欠な知識の総量の内、とくに「縦軸の（深化させる）部分」を担っています。現在は、簡単で便利な“ネット情報”隆盛の時代で、たしかに、電子情報は知識の横軸の（拡張させる）部分において威力を発揮しますが、しかし、薄っぺらな知識をいくら広げても真の“力”にはなりません。知識の総量は「縦×横」の積によって決定されます。彼らと付き合うには、ユッタリとした時間と「成長したい」という一歩の踏み出しさえあれば十分です。彼らは、皆さん自身が思う以上に“変身”させてくれるはずですよ。

図書委員・卒業生からのひとことアドバイス



観光について学ぼう

国際関係学部 福島規子 教授

国際関係学部の観光ビジネスコース新設に伴い観光関連の図書も充実してきました。「たのしみ」を創る観光学は学際的学問といわれ、歴史や地理はもちろん経営や心理学、社会学などからもアプローチできるのが魅力です。まずは、興味のある分野から観光の扉を開いてみませんか。



図書館利用のすすめ

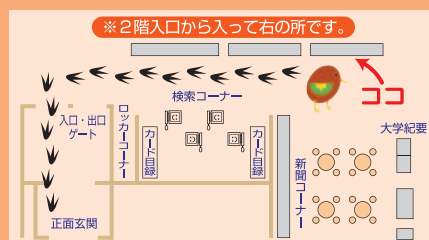
国際関係学部 卒業生 海田大輝

図書館には、様々な分野の本がおいてあり、新しい知識や、形に残らないようなものが、沢山手に入る。謂わば、宝物が詰まった空間です。

皆さんの、見つけた本は、ここで見つかるかもしれません。もしかしたら、運命的な本にも巡り会えるかも知れません。だから、是非一度は、足を運んでみてください。

図書館使おうよ!シリーズ Vol.4 ~オススメBOOKコーナー~

教職員や学生さんが選んだ本を展示しています。右ページで紹介された本も展示・貸出しています。



図書館委員からのオススメBOOK



大学院法学研究科 権田 和雄 教授

『Fahrenheit 451』

Ray Bradbury (1953年)

ネットで情報を得られる時代になぜ本なのか。SF作家レイ・ブラッドベリは1953年に「華氏451度」（紙が自然発火する温度＝摂氏220℃）の中で、テレビに情報コントロールされ思考を奪われた人類を描き、本を「精神の自由と個人の尊厳を守るもの」と位置付けた。本を介した、時に厄介な先人との対話は自身の思考への問いかけでもある。上記題名の意味は自分で考えて貰いたい。



大学院企業政策研究科 奥園 幸彦 教授

『難解な本を読む技術』

高田 明典 (2009年)

修士論文や卒業論文の執筆時には、いくつかの文献を参考にしなければならない。ところが文献の中には非常に難解と思われるものも多く、その内容の理解こそが論文の良し悪しの鍵を握ることもある。本書は、そのような文献に挑むにあたっての「技術」を教えてください。付録の「読書ノートの記入例」は一見の価値ありである。



法学部 西村 成樹 准教授

『俺俺』

星野 智幸 (2010年)

外部世界の現実から圧迫感（生きづらさ）を感じて、自分の主観的世界に閉じこもろうとした主人公は、周囲の人々すべてが「俺」（自分自身）になるという体験をします。突拍子もない設定ですが、最後にはそれなりに納得のいく結末になっています。自分の意思とはかかわりなく、派遣労働者やひきこもりやニートに追い込まれる現代社会の人々の（鬱憤を抱えた）内面世界と、そこから垣間見えるわずかな希望が描かれています。決して爽やかな作品ではありませんが、読みやすい文体ですので、ぜひどうぞ。



経済学部 小江 茂徳 助教

『スティーブ・ジョブズ1・2』

ウォルター・アイザックソン (2011年)

iPhoneやiPodなどを世に送り出したApple社の創業者ならびに元CEOであり、企業家、イノベーターとして世界的に著名な故スティーブ・ジョブズ氏の伝記です。ジョブズ本人や様々な関係者の語りから、彼の成し遂げてきたイノベーションやモノづくりに対する真摯な姿勢、そしてプライベートを含む彼の人物像を理解できるお勧めの図書です。



国際関係学部 松井 貴英 准教授

『海炭市叙景』

佐藤 泰志 (2010年)

佐藤泰志『海炭市叙景』（小学館文庫）は、二十年ほど前に亡くなった佐藤泰志による短編集です。しかし、ただ短編を集めただけでなく、北海道の海岸沿いにあるとされる、佐藤が想像した架空の都市「海炭市」における様々な人間模様が交わりあうことで、それぞれの物語に奥行きを持たせることに成功している、味わい深い、稀有な小説です。

図書館 視聴覚資料 利用ランキング

2011.4~2012.1 調査

- 1 ハリー・ポッターと謎のプリンス ————— 83件
- 2 Rookies (ルーキーズ) 卒業 ————— 66件
- 3 ナイト ミュージアム2 ————— 63件
- 4 シャーロック・ホームズ ————— 59件
- 5 ホーム・アローン3 ————— 57件
- 6 アバター ————— 54件
- 7 パッチギ! ————— 47件
- 8 ハリー・ポッターと賢者の石 ————— 41件
- 9 96時間 ————— 40件
- 10 オーシャンズ12 ————— 38件
- 〃 ナイト ミュージアム ————— 38件

平成23年度 活動報告

5～6月

図書館ガイダンス

新生入に、資料の探し方を体験してもらいました。



11月16日

選書ツアー (第4回)

今年は10名の学生さんに本を選んでもらいました。



11月24日

Lexis/Nexis講習会

教員や図書館学課程の学生が、判例検索の講習を受けました。



10月12日～11月15日

Library Lovers 図書館が森になる!? 育てよう読書の木

九州地区の国公立大学・高等専門学校図書館による合同企画、今年は、読んだ本についてのコメントを書いた葉っぱを木の幹に張り付けていく「読書の木」イベントが行われました。全参加館で1507枚の葉っぱが集まり、本学図書館で集まった葉っぱ73枚は、図書館入口に掲示していますのでご覧ください。(※表紙写真) コメントを書いた学生・教職員15名の皆様、ご協力ありがとうございました。

10月20日～11月22日

私の好きな本

Favorite Bookコンテスト (第2回)

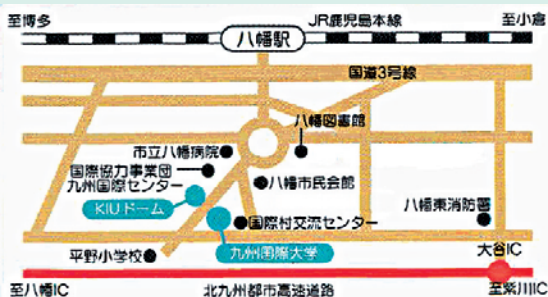
教養学会との共催による感想文コンテスト、今年は紹介文部門とPOP部門の二部門で募集を行いました。応募してくれた19名(紹介文部門16名、POP部門3名)の皆様、ありがとうございました。

12月7日の授賞式では入賞者に表彰状と賞品(クオカード)、それ以外の参加者にも参加賞が送られました。

12月7日、授賞式の様子(写真)



平成24年度もいろいろなイベントを用意しています。是非、ご参加ください。



通常期

月～金 9:10～20:00

土 9:10～16:00

日・祝 休館

長期休暇中

月～金 9:10～16:30

土 9:10～16:00

日・祝 休館

その他

変更する場合があります
来館前にご確認ください



携帯から主
子エック!

北九州市八幡東区平野1-6-1

TEL (093) 662-8305

FAX (093) 662-8339

図書館報 Vol.27

2012年3月発行

編集発行

九州国際大学図書館

<http://www.kiu.ac.jp/organization/library/index.html>